



「コストを意識した行動指針」の策定

～常に創意工夫・改善を意識～

市では、第2次行政改革大綱の取組課題である「職員の意識改革」の一環として、コストを意識した行動様式を豊岡市の組織文化とするため、「コストを意識した行動指針」(以下、「行動指針」という)を策定した。

策定に当たっては中堅職員を中心に策定検討委員会を組織し、行動指針には全職員がコスト削減に取り組み、絶えずコストを強く意識する仕組みづくりや、日常的に取り組むべき内容をまとめた。

1 策定日

平成22年11月30日

2 実行開始日

平成22年12月1日

3 行動指針の基本方針... P 3

- | | |
|------------------|--------------------|
| 指針1 ... 主体性を持って | 指針4 ... ライフサイクルコスト |
| 指針2 ... 身近なところから | 指針5 ... アンテナを高く |
| 指針3 ... 生産性を向上 | |

4 コスト削減、生産性向上等に係る主な取組み

- (1) 物品等の削減... P 4、5
- ・旅費の削減
 - ・ごみ分別の徹底による再資源化の推進 など
- (2) 業務の効率化・生産性の向上... P 6
- ・短期的な部内異動権限の委譲による効率化
 - ・辞令交付の簡素化
 - ・資産の有効活用の推進 など
- (3) サービス向上による市民満足度のアップ... P 7～9
- ・各種証明(印鑑証明・所得証明など)発行窓口の一本化
 - ・添付書類の省略化 など
- (4) 各部ごとに重点的に取り組んでいく項目... P 10～12
- ・コウノトリ共生部では、エコドライブによる公用車の燃費の10%向上
 - ・市民生活部では、分かりやすく親しみやすい窓口づくり など

5 評価と検証 ...行動指針を着実に実行していくために

- (1) 業務改善事例等の成果発表、優れた取組み情報を共有し業務に活用
- (2) 職員のモチベーションアップや自主的活動につながるよう、顕彰制度の検討
- (3) 策定検討委員会による行動指針に掲げた項目の点検、評価、見直し
- (4) 行動指針は、次年度以降も新たな取組みを引き続き検討 など